

地球惑星科学委員会 IUGS 分科会（第 25 期・第 4 回）議事要旨

令和 2 年 10 月 21 日 16 時～18 時

Web 会議

参加者：西（委員長）、木村、大久保（副委員長）、佃、奥村、斎藤、益田、谷口、堀（幹事）、掛川（幹事、書記）、北里（特任）

欠席：中田

議題

（1）国際地質科学連合の活動報告（北里特任連携会員）

最近のオンライン理事会の様子や財政状況の説明（特にキャンセルされたインド大会の状況など）があった。また、ISC の近況も報告された（日本女性者 2 名が President elected, vice president of Finance として当選した）。

（2）公開シンポジウム チバニアンに関して

以前企画していたチバニアンシンポジウムが中止となり、今回新規に企画を行

っている。シンポジウムの予定日は2022年5月23日に対面で学術会議講堂に行うことを予定している。市原市長にも講演を依頼した。次回の分科会までに具体案を作成することにした。但し、オンライン開催になる可能性も考慮しておくことになった。

(3) 新しい小委員会の設置について

現在、学術会議で小委員会の編成が問題となっている。分科会としても小委員会の構成をどうするかを議論した。小委員会が必要である委員会と必要でない委員会の識別をどうするか、そのときの国際対応委員の位置づけをどうするかなどの意見がだされ、継続的に審議を続けることになった。

(4) 分科会と地質学会の連携に関して

分科会と関連の深い地質学会にもオブザーバーとして参加してもらえるようにしたいとの提案があった。IUGSの関連学会も同様に参加できるようにする方がよいとの意見があり、どの学会に参加してもらうかの調査が必要であるとの意見が出た

(5) TGG 後継プロジェクトに関して (大久保連携会員)

大久保連携会員から TGG の後継プロジェクトを提案したいとの希望が出された。設置の提案は IUGS 分科会からではなく、別の方面から提案するほうがよいこと、構成メンバーは各国からバランスよく出した方がよいなどの指摘があり、再検討した上で、次の IUGS 理事会に提案する。

(6) 第 9 回国際地学教育会議の後援に関して

IUGS 分科会が直接には後援はできないので、学術会議事務局に直接打診してもらうことになった。

(7) その他

IGC 釜山の巡検に関して議論があった。